

2018 信州総文祭 マイコンカーラリー大会 プレ大会

平成 29 年 8 月 9 日～10 日

会場：諏訪東京理科大学



MCR Micom Car Rally
in Shinshu 2018
National High School Micom Car Rally Festival

第42回全国高等学校総合文化祭
2018 信州
2018 信州総文祭
2018年 8月7日(金)～11日(火)
入賞者の活躍に期待を込めて、
山梨県立大学にて開催

大会前日 8月8日（火曜日）

台風が日本列島を直撃する予想。

大会に向けてこの日から移動をはじめる学校があり、交通障害が心配されました。

会場の諏訪東京理科大学では、午後から荷物の搬入と設営を開始しました。



大会 1 日目 8 月 9 日（水曜日）



台風一過の晴天の下、朝から本格的に会場の設営を開始。
長野県の先生方や生徒のほか、ボランティア参加のスタッフも、大会会場となる諏訪東京理科大学に集合。
まずは食堂の机と椅子を片づけ、その後コースを設置しました。



今回の大会コースは、全長約66メートル。

スタート直後のクランク、トップスピードから進入する R450、複雑に連続する S 字カーブ、上り坂後の変則的な S 字カーブ、下り坂後のカーブ、R600 から R450 へと連続する深いカーブ、高速で進入するレーンチェンジ、クランク直後の低速で進入するレーンチェンジ、カーブ直後のクランクなど、マイコンカーの総合的な性能が試されるコースレイアウト。



参加受付の開始は13時。高校生選手の控室では、全国各地からの高校生がそれぞれにピットを設営し、試走の準備に入りました。



14時から試走開始。

多くの選手にとって、おそらく初めて見る大規模なコースだったと思います。



試走の後は交流会。

長野県内の高校でマイコンカーラリーに取り組んでいる高校生が、今回の総文祭プレ大会に向けて生徒部会を結成し、数か月前から準備してきたもので、企画から運営まですべて生徒部会によるものでした。



交流会の最後は、2018 信州総文祭の大会マスコットキャラクター「信州なび助」と一緒に記念写真を撮影しました。



Master Class の試走。

大会 1 日目の最後は、Master Class 選手の試走時間。



大会2日目 8月10日（木曜日）

この日も朝から晴天。高校生選手を乗せたシャトルバスが会場に到着。Master Class 参加者も続々と会場入りしました。





大会会場の諏訪東京理科大学、河村学長先生より歓迎のご挨拶をいただきました。



開会式の最後に、生徒部会を代表して、長野県駒ヶ根工業高等学校の曲淵 大輝さんが大会の開会を宣言しました。

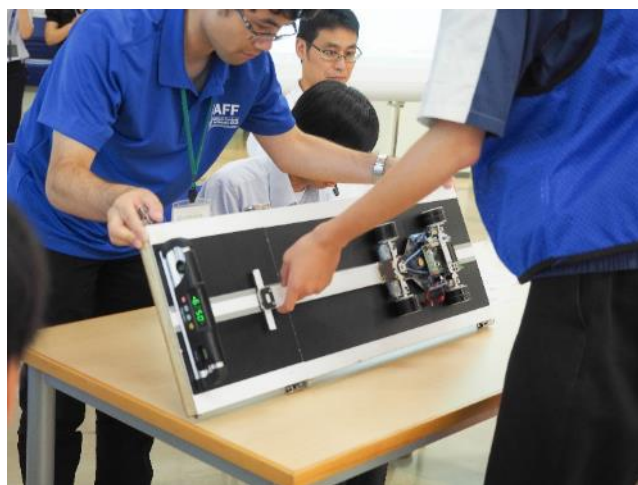


予選開始。予選は 9 時 30 分から 12 時 30 分までフリー走行形式で実施しました。予選時間内に何度でも走行でき、その中のベストタイムを予選記録とする方式です。Basic Class, Advanced Class, Master Class の選手が次々に走行しました。



大会での競技として、おそらく初めて実施した横Gコンテスト。

直線の公式コース上にマイコンカーを置き、コースの板を徐々に傾斜させたとき、傾斜角が何度までコースに留まることができるかを競いました。車体がコース脇の白線に触れるか、コースから滑り落ちた時点を記録としました。競技開始直前にはタイヤの粘着性についての車検を実施しました。



横Gコンテストの優勝は、富山県立富山工業高等学校の五十嵐俊太さんで、記録は 67.10° でした。

Basic Class 決勝。

今回の大会では、予選終了後にコースの走行方向を逆走に変更し、全 Class 共通で予選下位者から上位者の順で1回のみ単独走行のタイムアタックをしました。走行前には1人ずつ簡単なインタビューをおこない、走行後はその時点での上位3選手に「Top3選手席」に座ってもらうことで、できるだけ多くの選手が主役になれる時間を演出しました。



Basic Class の優勝は、福岡県立苅田工業高等学校 太田 瑞生さんで、記録は 27.47 秒でした。



決勝全選手が走行を終え、Top 3 選手席に揃った優勝・準優勝・3位の選手。

左から、優勝：福岡県立苅田工業高等学校 太田 瑞生さん 準優勝：福岡県立苅田工業高等学校 濱田 颯暉さん 第3位：岐阜県立大垣工業高等学校 渡邊 亮介さん。

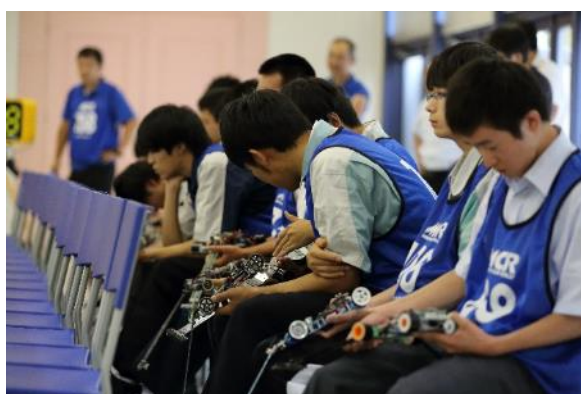


Advanced Class 決勝。

Basic Class の決勝終了後、クロスライン、ハーフラインの位置を一部変更しました。

決勝の開始前にすべての決勝出場選手を待機席へ召集。その前で予選下位者から順にスタートしていきました。

決勝出場 30 台中、完走はわずか 7 台。それだけに、完走した選手には会場内から大きな拍手が湧きました。



予選3位の選手まで走行を終えて、完走はわずか5台。

予選2位通過の長野県駒ヶ根工業高等学校 小池 寿晏さんが初めて16秒を切る15.91秒で完走して、暫定1位になると、会場内から大きな拍手が湧きました。



最終走者、予選1位通過の富山県立富山工業高等学校 五十嵐 俊太さんのマイコンカー「ファラン」の走りに会場内の注目が集まりました。



五十嵐さんの記録は、小池さんの記録を 0.18 秒上回る 15.73 秒。その瞬間に Advanced Class の優勝が決まりました。



Advanced Class 全選手の走行が終わり、Top3 選手席に揃った優勝・準優勝・3位の選手。

左から、優勝：富山県立富山工業高等学校 五十嵐 俊太さん 準優勝：長野県駒ヶ根工業高等学校 小池 寿晏さん 第3位：長野県駒ヶ根工業高等学校 矢野 隼佑さん。

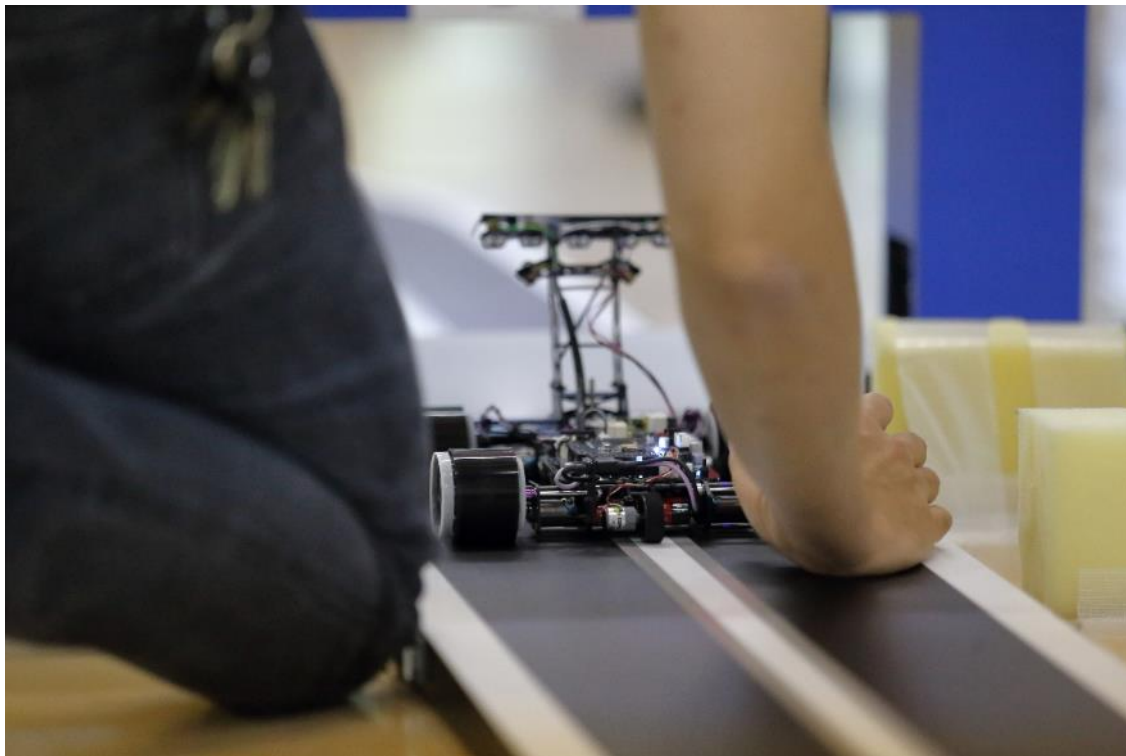


Master Class 決勝。

日本各地から集まった、マイコンカーが大好きな人、マイコンカーの魅力を高校生に伝えたい人、マイコンカーを通して人と人のつながりを大切にする人たち。

予選を通過した 10 台の個性的なマイコンカーが次々と走行する豪華な時間。

その情熱を、会場の高校生たちは感じ取ってくれたでしょうか。



予選 5 位の河野 純也さん。長年にわたって独自の制御理論に基づくマイコンカーを作り続けるマイコンカー界の牽引者。決勝では 15.90 秒で第 3 位となりました。



予選 2 位の遠藤 隆記さん。センサーバーを持たず、車体上方のセンサーでコースを検出する独自の制御方法。決勝では 15.77 秒で第 2 位となりました。



予選 1 位の深澤 則正さん。予選 15.58 秒、決勝でも 15.66 秒を出し、完全優勝。



Master Class Top 3 選手席に揃った優勝・準優勝・3 位の選手。

左から、優勝：深澤 則正さん 準優勝：遠藤 隆記さん 第 3 位：河野 純也さん。
インタビューではそれぞれのマイコンカーの特徴などを解説していただきました。



大会のクライマックス、エキシビジョン。

Advanced Class 優勝 富山県立富山工業高等学校 五十嵐 俊太さん 優勝タイム 15.73 秒が、Master Class 優勝 深澤 則正さん 優勝タイム 15.66 秒と勝負。



OUT スタートの五十嵐さんと、IN スタートの深澤さん、両者のマイコンカーが、全長 66 メートルのコースを同時に疾走する。ゴール直前の立体交差で両者のマイコンカーが交差し、ほぼ同時に最後の左クラックへ進入していく迫力の展開。結果は、IN スタートの深澤さんがこの日最速の 15.54 秒、OUT スタートの五十嵐さんが 15.84 秒となりました。



表彰式・閉会式。

各部門の入賞者に賞状が授与されました。また、Basic Class と Advanced Class の優勝者にはトロフィーが授与されました。



諏訪東京理科大学より、学長賞として、今大会に最も遠方から参加してくれた宮崎県立日南振徳高等学校の栗崎 健瑠さんにNASAのマグカップが贈られました。



閉会式の最後に、生徒部会を代表して、長野県岡谷工業高等学校の小池 琉来さんが大会の閉会を宣言しました。





2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会プレ大会は、皆様のご協力によりすべての日程を終えることができました。
誠にありがとうございました。

来年、2018 年夏、2018 信州総文祭マイコンカーラリー大会でお会いしましょう。